

2011年度数学IA小テスト(第5回)  
(6月20日配布)

担当: 斉藤 義久

[1]  $F(x, y) = e^{f(x,y)g(x,y)}$  とするとき,  $F$  の1階偏導関数を全て求めよ. ただし

$$f(x, y) = \log \sqrt{x^2 + y^2}, \quad g(x, y) = \operatorname{Arctan} \frac{y}{x}$$

とする.

[2] 次の関数の2階の偏導関数を全て求めよ.

$$(1) \frac{xy}{x+y} \quad (2) \operatorname{Arcsin} \frac{xy}{1+x^2+y^2}$$

[3] 次の極限値を  $\varepsilon - \delta$  論法によって求めよ. もし極限値が存在しない場合は, そうであることを  $\varepsilon - \delta$  論法によって示せ.

$$(1) \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} (x+y) \sin \frac{1}{x} \sin \frac{1}{y} \quad (2) \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{1 - \cos(x^2 + y^2)}{(x^2 + y^2)^2}$$
$$(3) \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{1 - \cos(x^2 + y^2)}{xy} \quad (4) \lim_{(x,y) \rightarrow (0,0)} \frac{\sin x \sin y}{\sin^2 x + \sin^2 y}$$

[4] 次の主張は正しいか? 正しいければ証明し, 間違っているなら反例を挙げよ.

主張: 原点  $(0, 0)$  のまわりで定義された関数  $f(x, y)$  を考える. 極座標で表示して  $x = r \cos \theta$ ,  $y = r \sin \theta$  とするとき, 任意の  $\theta$  に対して,  $\lim_{r \rightarrow +0} f(r \cos \theta, r \sin \theta)$  が ( $\theta$  によらずに) 同じ値に収束するならば,  $f(x, y)$  は  $(0, 0)$  で連続である.

○ 発展問題

$S$  を  $\mathbb{R}^2$  の空でない部分集合とし, 関数  $d_S : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  を次のように定める.

$$d_S(\mathbf{x}) := \inf\{\|\mathbf{x} - \mathbf{y}\| \mid \mathbf{y} \in S\} \quad (\mathbf{x} \in \mathbb{R}^2).$$

ここで  $\|\mathbf{x} - \mathbf{y}\|$  は2点  $\mathbf{x}, \mathbf{y} \in \mathbb{R}^2$  の距離を,  $\inf\{\|\mathbf{x} - \mathbf{y}\| \mid \mathbf{y} \in S\}$  は,  $\mathbb{R}$  の部分集合

$$\{\|\mathbf{x} - \mathbf{y}\| \mid \mathbf{y} \in S\}$$

の下限を表す. このとき, 上で定めた関数  $d_S : \mathbb{R}^2 \rightarrow \mathbb{R}$  は連続であることを示せ.